



あおいちゃんのワンポイント英語教室



- ふたばペア： あ！また間違えた！もう、英語なんか嫌いだよ。
- あおい： どうしたの？
- ふたばペア： あおいちゃん！英語の単語がなかなか書けないんだ…。日本語だったら、[あ]の音は絶対に「あ」って書くのに、どうして英語は発音通りに書かない言葉があるの？何かを買ったときにもらうレシートだって、発音は[レシート]みたく発音するのに、文字で書くときは”receipt”だよ！でも[レシプト]なんて読まないじゃないか！
- あおい： 確かに、英語は文字通りに発音しないことがあるから、覚えにくいね。でも、それには英語の歴史が関わってくるのよ！
- ふたばペア： えっ？そうなの？
- あおい： もともと、英語は基本的に書かれた文字のとおり発音されていたの。でも、ルネサンス期に変化があったのよ。この時代には古代ローマ文化が素晴らしいと思われていて、その古代ローマではラテン語が使われていたの。だから英語の言葉もラテン語のように書きはじめたの。たとえば、さっきのレシートの例だと、昔は”receit”と書かれていたの。
- ふたばペア： 確かにそれだと[レシート]と発音できるね！
- あおい： でも、ラテン語の書き方をみならって、pを入れたのよ。
- ふたばペア： すごい、そうだったんだ！そんな歴史があったんだね！

英語のつづりと発音が違うのはなぜ？



この質問の答えとしては、「たくさんの言語から言葉を借りてきた」や「長い時間を経て発音されなくなった」等、様々な理由があります。今回はルネサンス期におこったラテン語による影響を紹介しました。この当時は、ラテン語が最高の言語だと思われていたため、英語の言葉もラテン語風の書き方で書かれるようになりました。

ところが発音は変化しなかったため、書かれた文字と発音の間に違いが生まれてしまいました。この変化の他の例としては、

1、island(島)のs

2、scissors(はさみ)のc

があります。これらの単語は、昔はilandやsisoursと書かれていたそうです。また、ルネサンス期には、たくさんのラテン語の言葉を借りて使うようになり、この時期に英語の言葉の数は2倍に増えたと言われています。(増えた語全てがラテン語というわけではありません。)

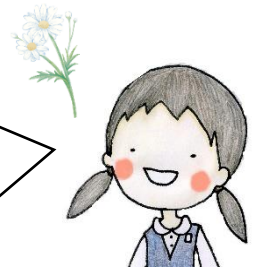
あおいからのホームワーク

次のイタリア料理は、英語で何と書くか推測してみよう！答えは下にあるよ！

1：スパゲッティ    2：ジェラート    3：ティラミス    4：ピザ  
5：モッツァレラ

ちなみに、あおいの好きなイタリア料理はラザニアだよ！

初めて食べたときは、思わず<sup>かんせい</sup>歓声を上げてしまったよ。  
皆はラザニアってどんな料理か知ってるかな？



<答え>

1：spaghetti    2：gelato    3：tiramisu    4：pizza    5：mozzarella

参考にした本： 唐澤一友（2011）『英語のルーツ』春風社、宇賀治正朋（2000）『英語史』開拓社



今日は少し難しかったけど、勉強になったよ。

英語のことは一つとっても深い歴史があるんだね！これからは一つ一つの言葉を大切にしていきたいな。

さて、来週はフランスに行くよ！楽しみだなぁ！

そして、皆にアンケートのお願いがあります。「雙葉の窓から」の記事を読んだ感想を聞かせてください！

アンケートの詳細は下の URL または QR コードから！

<「雙葉の窓から」ご意見・ご感想アンケート>

<https://forms.gle/PtpkwoBxmbMRXd8s6>

